

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	年2回キャリアパスの面接を行い自己採点、評価者の採点を加え判断しているが、スタッフの心に響いていると思えないことが多く、スタッフの知識、介護技術の向上を目指したい。	スタッフの介護レベルと介護者としての資質の向上を目指したい。	スタッフ個々に、研修計画を立ててもらい、所内並びに所外研修充実を図りたい。年間計画に沿った研修内容と課題を見つけ所内研修に繋がられるよう計画を立て直し、役割を決めて実践していきたい。	12ヶ月
2	35	夜間スタッフが一人夜勤となってしまうことで、歩行含め利用者が介助必要としていることが、時には緊急性が大きく他の協力者が不可欠であると考えている。そのような状況の時近隣だったり、地域の方の協力が得られれば、こころ強い。	地域近隣との協力体制の確保、体制を築く。支え合いの精神のもとに、施設側でも(避難場所の提供等)できることを申し出て体制構築に努力したい。	再度近隣に緊急時の対応を依頼する。依頼書には施設側としてできることを、記載し協力体制の構築していきたい。	12ヶ月
3	38	介護するスタッフのペースになりがちな傾向強く、個々の利用者に対する視線が、接し方、言葉のかけ方が不十分である。	一人ひとりの生活歴の維持、ニーズを引き出し、個々の人にあった生活の場を提供できるように、努力していく。	各利用者ごとに、担当者決め、パーソンセンターケアでの取り組みを行っていきたいと考えている。また課題ごとに、カンファレンスを行い、個々の利用様にあった対応とはなにか、所内研修を通して、考える機会を持っていきたい。	12ヶ月
4	49	重度化傾向にあり、行事参加以外外出は少なく家族の協力も得られにくい。	家族への協力体制の強化考えている。お便りや連絡手段の方保探していきたい。	利用者ができるお便りや、写真に手を加えたりし、施設の行事等、ことあることに家族が来てみたいという衝動に掛かられるような手法考えて行ってみる。	12ヶ月
5	37	利用者個々への対応方法が不十分である。	個々の利用者に対する対応方法考えて行う。スタッフはプロであるという意識の元、適切な対応方法を模索していく。	日々勉強であることや、実践であることを忘れず実務を行うことや、リーダー性での指導的役割の人材育成に力を入れていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。  
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。